

ハンズオンセミナーのご案内

ハンズオンセミナー1 「スキンケア」足のチェック、足浴、保湿剤の塗布

第4会場 ● 9:30～10:50 【定員】30名

共催：持田ヘルスケア株式会社

- ・シャボンラッピングの実演：泡洗浄の実演で、泡立てのポイントや適切な温度感などの技術を学ぶ
- ・保湿実践：具体的な保湿剤の量や塗り方を学ぶ
- ・集中的な実践：50分間で、現場で活用できる洗浄・保湿技術をしっかり習得
- ・専門家の指導：皮膚・排泄ケア認定看護師からの直接指導で、確かな技術を習得可能

ハンズオンセミナー2 「誰でもわかる静脈エコー」

第6会場 ● 9:00～10:20 【定員】12名

ハンズオンセミナー3 「免荷」～義肢装具士がいなくても現場で出来る除圧(免荷)方法～

第6会場 ● 10:30～11:50 【定員】30名

冒頭20分は、自己紹介と除圧(免荷)フェルトとキュアサンダルなどの紹介と使用方法を説明します。その後実技に入り、2人1組ペアになってもらい1テーブルに4～6人程で考えています。ペアは装具を貼られる側と作る側で前半後半に入れ替えて体験して頂きます。30分で役割を交代して貰います。その間講師は各テーブルを周り直接指導を行える様に致します。

ハンズオンセミナー4 「むくみケア」ラバラバ2 私はこう使う

第4会場 ● 11:00～11:50 【定員】40名

共催：九州メディカルサービス株式会社

齢を重ねてくると、身体機能の低下に伴い循環機能、筋肉ポンプ作用などの働きも低下することが多い。さらに腰部・膝部などの疼痛や運動制限のため、椅子の生活をする方も多く、下肢の浮腫のリスクが高まる。浮腫の予防や治療ために弾性ストッキングを履く場合、履き方の手順を覚えることや、弾性ストッキングを保持する握力、引き上げる筋力、体幹を安定の骨格筋のバランスなど、クリアすべき点が多いと感じる。

入院では、対象患者には医師の指示で、深部静脈血栓症(静脈血栓塞栓症)と肺塞栓症予防のため弾性ストッキングを使用すると思うが、当院では、弾性ストッキングを第1選択とし、弾性ストッキングで生じるスキンケアなどのリスクがある(予測も含めて)場合に、ラバラバ2を選択している。

褥瘡ケアの観点からは、演者が推奨する「在宅褥瘡ケアひたちなかメソッド®」では被覆材の固定や、スキンケア予防用品としても活用している。

ラバラバ2は、弾性ストッキングのように着用のコツを覚える必要がなく、ふつうの靴下のように引きあげて履くことが可能である。さらりと書いたが、これはすごいことである。以下の負担を軽減

する。履く時間、説明時間、履き方を覚える、履き方を覚えられない購入したのに履けないというマイナスの感情など。継続使用が可能なことから、本来の目的である浮腫が軽減することも多い。今回、当院での使用と運用、考え方についてお話をさせていただく。参考にしていただければ幸いである。

ハンズオンセミナー5 血流 レーザ血流計と光線療法

第4会場 ● 13:30～14:20 【定員】20名 共催：ジェイ・エム・エス株式会社 / 株式会社フィラピーメディカルジャパン

ハンズオンセミナー6 「HALとメディアマット」最新のテクノロジーとフットケア

第6会場 ● 13:30～14:20 【定員】20名 共催：テックワン株式会社

「自分の足で一生歩く」をサポートするロボットスーツHAL[®] (Hybrid Assistive Limb[®]) やテックワン(株)が最新技術で花田明香先生とともに開発した「メディアマット[®]フットケア」「メディアマット[®]ポジショニングクッション」等が体験出来ます。